

2016 年 10 月 18 日

## 産業疲労研究会 第 85 回定例研究会 (ご案内)

働く人々の疲労やストレス、メンタルヘルス、睡眠などの問題について、幅広く議論を行う場である産業疲労研究会の定例研究会およびシンポジウムを下記の要領で開催いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

### 【日時】

2016 年 10 月 29 日 (土) 13:00～16:00

### 【場所】

滋慶医療科学大学院大学・視聴覚大講義室

JR 新大阪駅下車 北口から徒歩 1 分

(滋慶医療科学大学院大学へのアクセス <http://www.ghsj.ac.jp/access>)

### 【参加費】

無料

### 【主催】

日本産業衛生学会 産業疲労研究会

### 【プログラム】(下記時間は、若干前後することがあります)

13:00～13:10 開会挨拶、連絡等

13:10～13:50 一般演題発表

(休憩)

14:00～16:00 シンポジウム

### 【一般演題発表】1 演題 20 分 (発表 15 分、質疑 5 分)

座長 城 憲秀 (中部大学)、松元 俊 (大原記念労働科学研究所)

1) 日勤における病棟看護師の活動量および歩数と疲労

○辻村裕次<sup>1)</sup>、北原照代<sup>1)</sup>、堺田和史<sup>1)</sup>、西田直子<sup>2)</sup>、富田川智志<sup>3)</sup>

1) 滋賀医科大学・社会医学講座・衛生学部門、2) 京都学園大学 健康医療学部看護学科、

3) 京都女子大学 家政学部 生活福祉学科

2) 介護労働者の腰部筋負荷についての検討：移乗介助場面における福祉用具の活用効果

○岸村厚志<sup>1,2,3)</sup>、飛田伊都子<sup>1)</sup>、米延策雄<sup>1)</sup>、伊藤正人<sup>3)</sup>、山下哲平<sup>1)</sup>

1) 滋慶医療科学大学院大学、2) 大阪医療福祉専門学校、3) 大阪市立大学

## 【シンポジウム】

### 「女性労働者と夜勤・交代制勤務」

#### 座長

塚田月美（パナソニック株式会社）、北原照代（滋賀医科大学）

#### シンポジスト

1) 女性が元気に働くことと夜勤・交代制勤務について

長井 聰里（株式会社 JUMOKU）

2) 看護師の夜勤・交代制勤務の実態と健康を守る取り組み（国際動向も踏まえて）

佐々木 司（大原記念労働科学研究所）

3) 夜勤交代制勤務と勤務間インターバル

久保 智英（労働安全衛生総合研究所）

4) 技能系女性社員が活躍できる職場づくり

岩根 幹能（新日鐵住金株式会社 和歌山製鐵所）

#### ＜趣旨＞

1999年に女性の深夜業の法的規制が撤廃されてからずいぶん経ちました。

規制撤廃以前から夜勤をしている看護師については一定の調査研究がありますが、その他の職業における女性労働者の夜勤・交代制勤務の実態は明らかになっていません。

一方で、国の「女性活躍推進法」の策定、女性健康包括的法案の国会再提出の方針を受けて、産業保健の視点も入れ込む必要性を示されたことから、日本産業衛生学会理事会がワーキンググループを立ち上げ、女性労働者の健康確保支援ガイドライン等作成の検討が開始されたところです。

本研究会では、昨年の定例研究会で「ワークとライフのバランス」を、また、近年継続的に、全産業への導入が議論されている「勤務間インターバル制度」をテーマとして取りあげてきました。そこで、今回の定例会では、女性労働者の夜勤・交代制勤務に焦点をあてたシンポジウムを企画しました。

#### 【問い合わせ先】

第85回定例研究会 担当世話人：北原照代（滋賀医科大学・社会医学講座・衛生学部門）

電子メール：teruyo@belle.shiga-med.ac.jp

電話：077-548-2187

FAX：077-548-2189

研究会ホームページ：<http://square.umin.ac.jp/of/>